

# 愛犬飼育管理士教本 2021年版のご案内

国立科学博物館館長 林 良博 監修

(環境省中央環境審議会動物愛護部会前部会長)

令和元(2019)年、「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正がなされたことから、この度、愛犬飼育管理士教本を大幅に改訂し、2021年版として刊行いたしました。

## 【2021年版の特長】

### 1. 令和元(2019)年の法律の改正に準拠

第一種動物取扱業による適正飼養等の促進(飼養・保管基準の制定、幼齢犬猫の販売等の制限)、特定動物に関する規制の強化、動物虐待等に関する罰則の強化、マイクロチップ装着・登録の義務化等令和元(2019)年の法律改正に準拠しています。

### 2. 法律知識について理解・習得しやすい構成、大幅な増頁

法律の各条文中に詳細な解説を記載するという構成とすることにより、学習者にとって法律が理解・習得しやすいものとなっております。また、大幅にページ数を増やし、内容を拡充しました。

### 3. 猫その他の動物についても記述

従来のテキストは、犬を題材にして動物全般に関する基本的な知識を身に付けていただき、他の動物にも応用できるように記述してきましたが、動物取扱責任者の業務実態等を考慮し、犬以外に猫やその他の動物についての記述も追加しました。

### 4. データの更新

本書中のデータについては、法律関係以外についてもできるだけ最新のものに更新しました。

### 5. 動物の管理の方法等の基準を定める省令

動物取扱業にとって関心の高い動物愛護管理法第21条第1項の規定に基づき定められる動物の管理、飼養施設に備える設備の構造・規模、従業員の員数、環境の管理、繁殖の回数や年齢の制限等に関する基準(省令)についての解説も記述しています。

